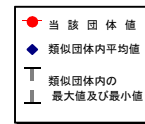


(11)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

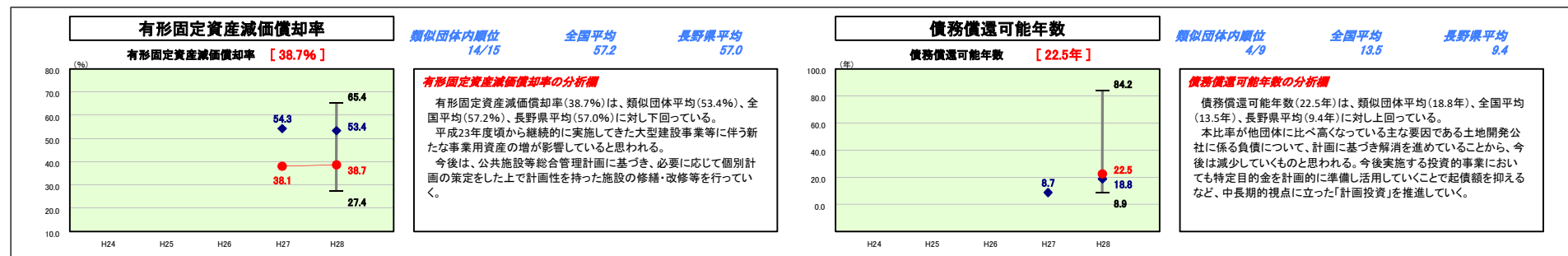
平成28年度

長野県下諏訪町

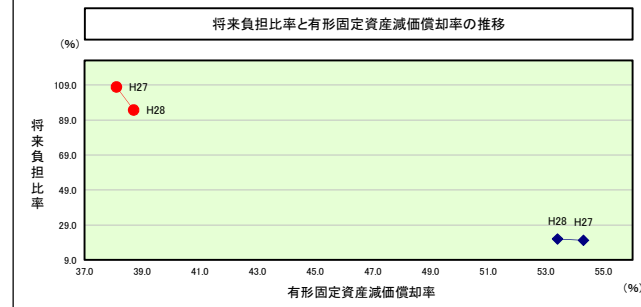
人口	20,744	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	20,476	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	66.87	km ²	実質公債費比率	0.5	%
歳入総額	8,326,929	千円	将来負担比率	94.8	%
歳出総額	7,971,481	千円	市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2	
実質収支	346,631	千円	(年度毎)	H27 V-1 H28 V-2	
標準財政規模	4,804,436	千円			
地方債現在高	9,659,093	千円			



※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成30年1月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
 ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

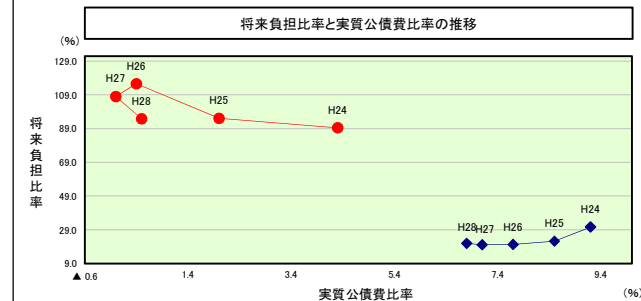


分析欄
 将来負担比率については、類似団体内の平均を上回っているものの、有形固定資産減価償却率では平均を下回っている。将来負担比率を押し上げている要因である土地開発公社に係る負債については、現在計画に基づき解消を進めていることから、類似団体平均くらいまでは減少していくことが見込まれる。一方で、既存施設の老朽化が進んでいることから、今後多額の改修費用等が必要になり、将来負担比率の増加が見込まれる中、公共施設等総合管理計画に基づき、計画性を持った施設の修繕・改修等を行っていく。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率				108.0	94.8
	有形固定資産減価償却率				38.1	38.7
類似団体内平均値	将来負担比率				20.2	21.0
	有形固定資産減価償却率				54.3	53.4

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄
 将来負担比率については、類似団体内平均を上回っているが、一方で、実質公債費比率は、0.5ポイントと良好な結果を表している。
 今後は、近年実施してきた大型投資的事業の借入金の償還が始まることから、実質公債費比率の上昇が予想されるが、それに伴い起債残高が減少することで将来負担比率の改善が見込まれる。引き続き財政を圧迫することがないよう計画的な公債費管理に努めていく。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	89.5	95.1	115.6	108.0	94.8
	実質公債費比率	4.3	2.0	0.4	0.0	0.5
類似団体内平均値	将来負担比率	30.7	22.3	20.3	20.2	21.0
	実質公債費比率	9.2	8.5	7.7	7.1	6.8